



# 補足資料

## 2022年12月期 第3四半期

# 売上高は前期比微減 営業利益は46%の増益

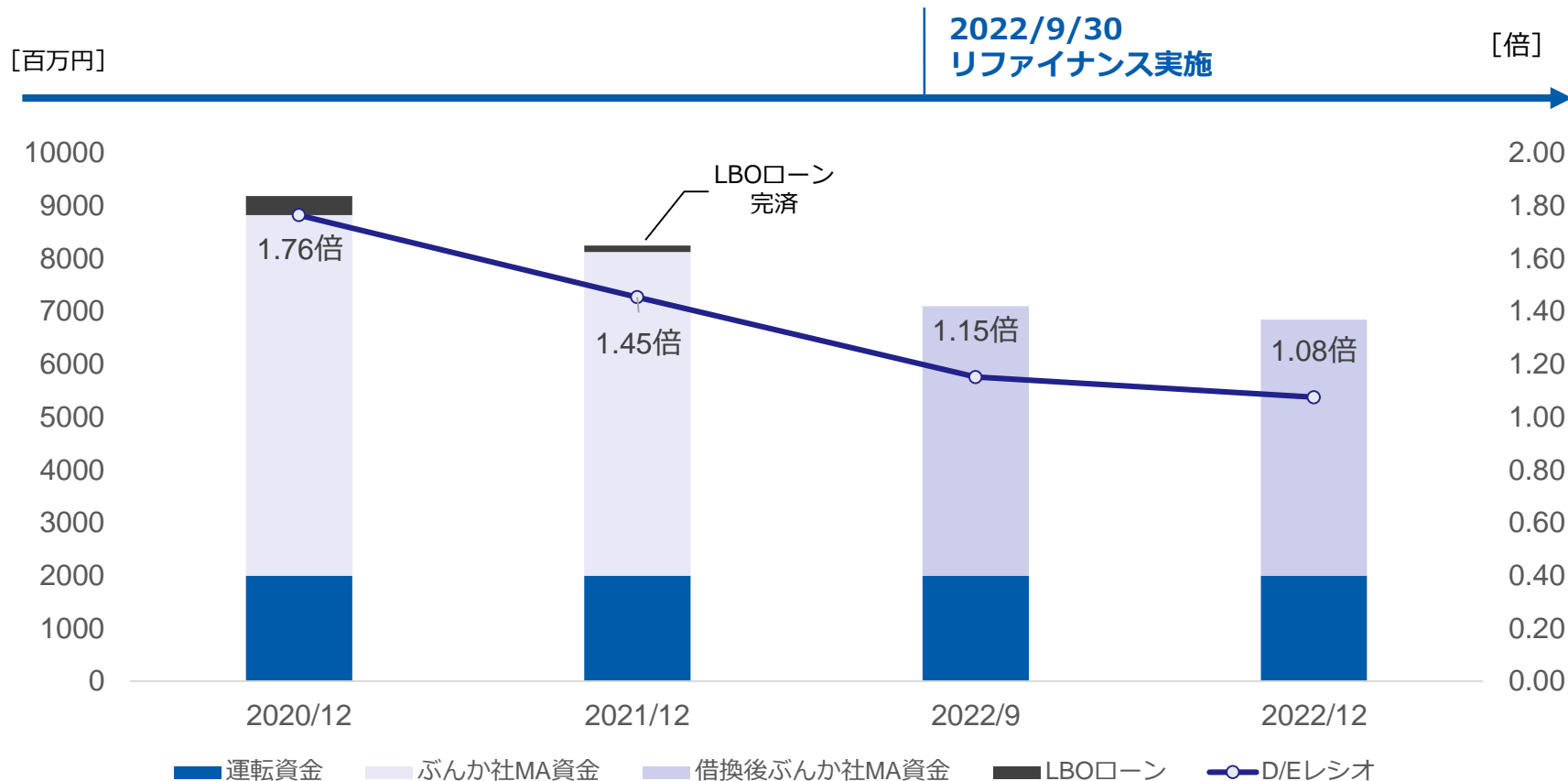
- ✓ Pセグ：『まんが王国』は計画通り進捗
- ✓ Cセグ：デジタルコンテンツが売上・利益を牽引
- ✓ コーポレートアクション  
：総額51億円のリファイナンスを実行

PL (単位：百万円)	2021年12月期	2022年12月期	前期比	
	3Q累計	3Q累計	増減額	増減率
売上高	14,107	<b>14,035</b>	▲71	▲0.5%
営業利益	946	<b>1,385</b>	+438	46.4%
のれん等償却前営業利益	1,543	<b>1,969</b>	+425	27.6%
経常利益	840	<b>1,260</b>	+420	50.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	338	<b>531</b>	+193	57.1%
1株当たり 当期純利益(円)	56.92	<b>89.10</b>	+32.18	—

注：前期実績値は、2021年12月期第3四半期におけるPPA確定後の修正値

注：のれん等償却前営業利益は、のれん及び出版権償却前の営業利益

## 51億円のリファイナンスを実行し、財務制限条項の緩和と金融費用の圧縮を実現 D/Eレシオは順調に低下し、財務体質の改善も進む



注：2022/12末のD/Eレシオは、2022/12末時点の借入金残高予定込額を、2022/12末の純資産見込額（前期末純資産＋連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益の金額）で除したものの。

## 財務制限条項の緩和

▶ 下記③～⑤の財務制限条項が削除

①各事業年度末日における純資産の部の合計金額が2019年12月期末日または直近の事業年度末日の純資産の部の合計金額の75%以上を維持していること

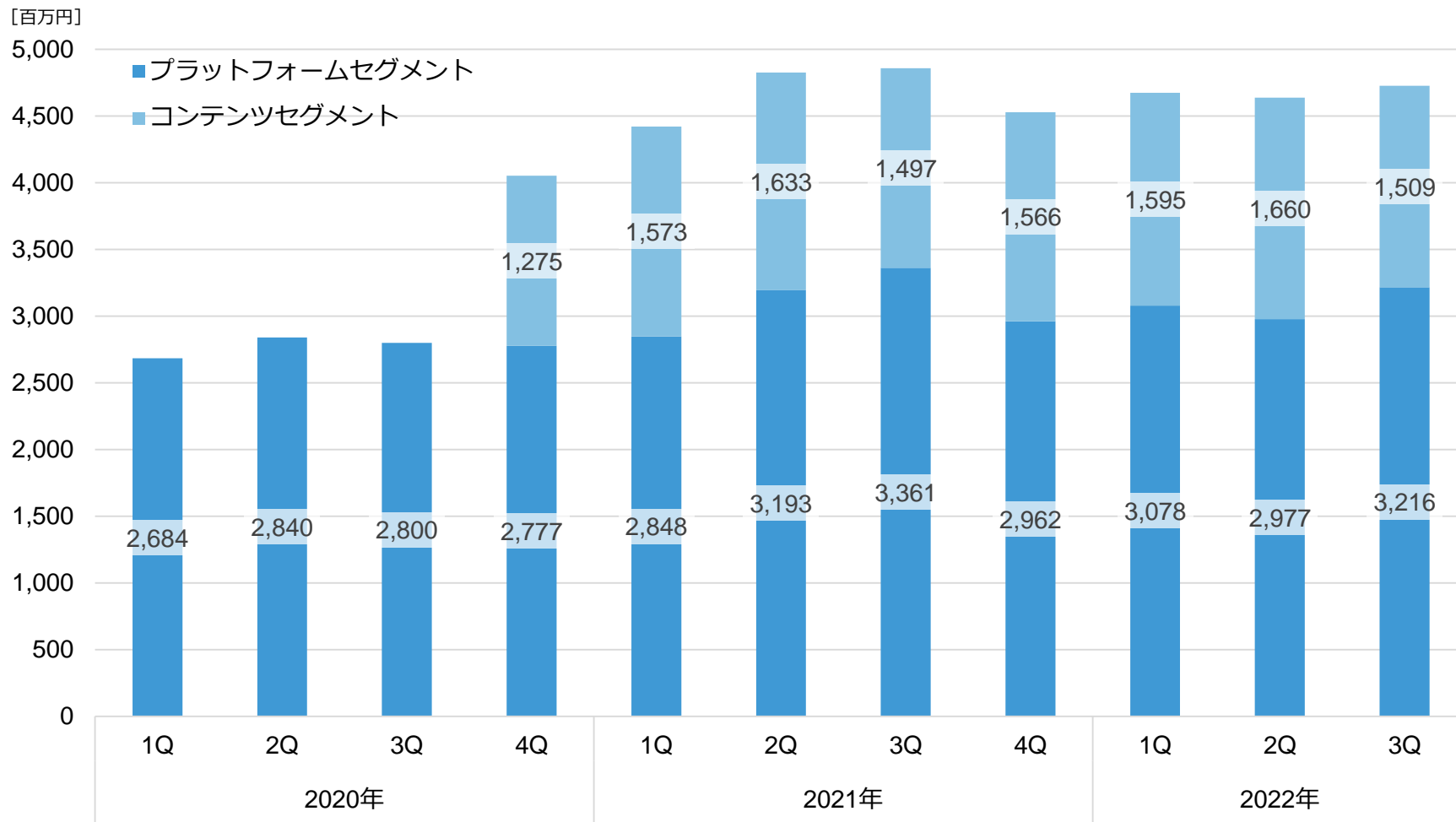
②各事業年度末日における、P/L上の当期損益とB/S上の減価償却費及びのれん償却額の合計金額を2期連続で負の値としないこと

③各事業年度末日における有利子負債の合計金額が連結FCFの10倍を超えないこと ⇒ 削除

④各事業年度末日における連結FCFの合計金額を8.5億以上に維持すること ⇒ 削除

⑤各事業年度末日における投資CFの合計金額を5億を超える負の値としないこと ⇒ 削除

注：今回の契約にて①における基準日は2019年12月期末日から2021年12月期末日へ変更。



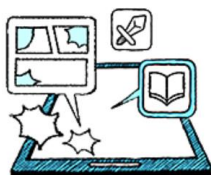
注：端数処理の都合、合計値は不一致  
セグメント売上高は外部顧客への売上高

### 全社業績



売上高	:	<b>14,035</b> 百万円	(	<b>0.5%</b> 減)
営業利益	:	<b>1,385</b> 百万円	(	<b>46.4%</b> 増)
のれん等償却前営業利益	:	<b>1,969</b> 百万円	(	<b>27.6%</b> 増)

### プラットフォーム セグメント



売上高	:	<b>9,271</b> 百万円	(	<b>1.4%</b> 減)
営業利益	:	<b>527</b> 百万円	(	<b>-</b> )
のれん等償却前営業利益	:	<b>733</b> 百万円	(	<b>256.9%</b> 増)

### コンテンツ セグメント



売上高	:	<b>4,884</b> 百万円	(	<b>1.0%</b> 増)
営業利益	:	<b>858</b> 百万円	(	<b>10.6%</b> 減)
のれん等償却前営業利益	:	<b>1,236</b> 百万円	(	<b>7.6%</b> 減)

注：( ) 内は前年同期比

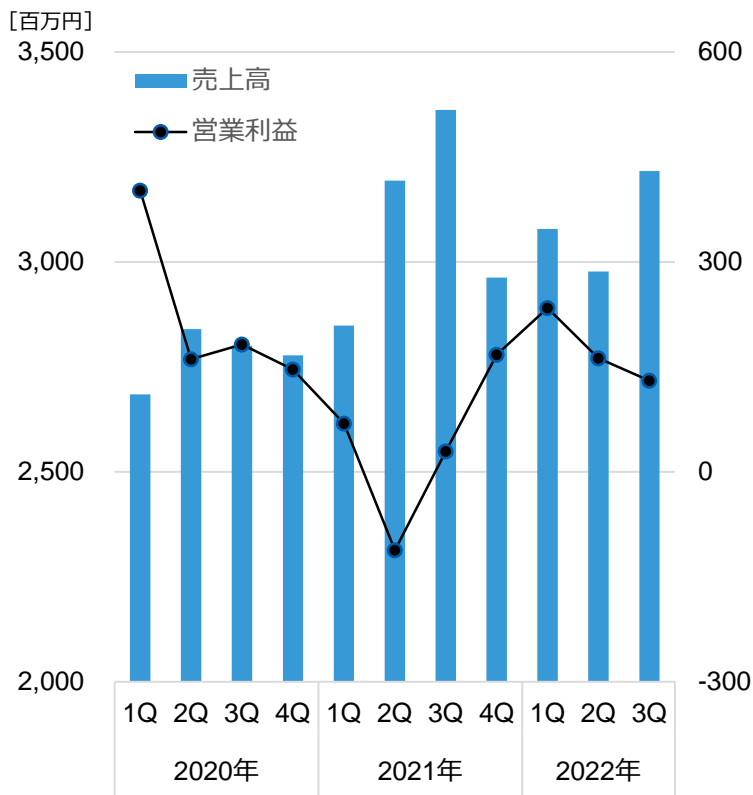
注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

注：のれん等償却前営業利益は、のれん及び著作権償却前の営業利益

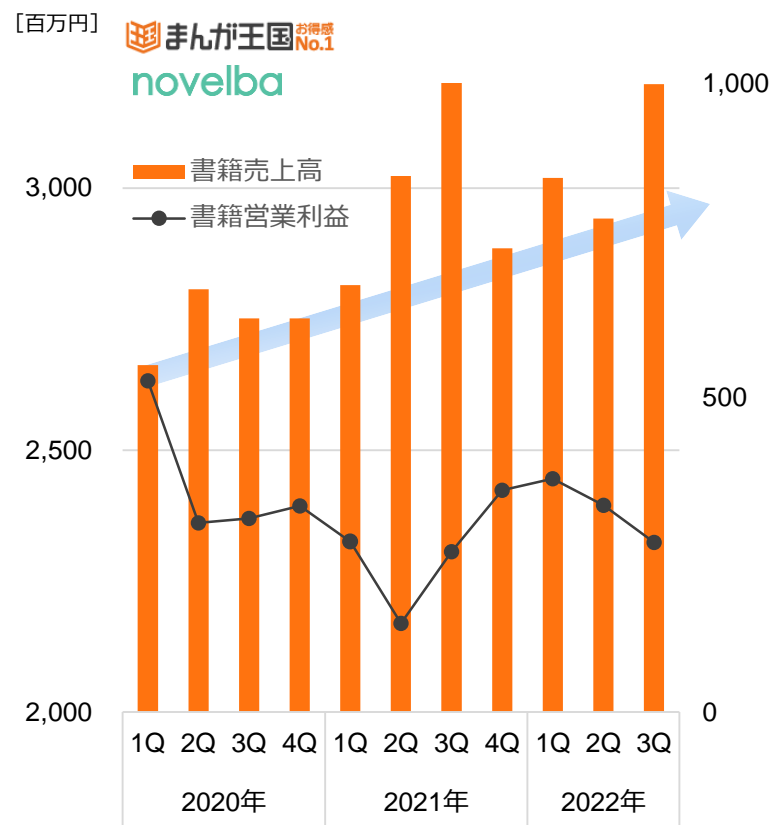
売上高はゲームのサービス終了により前年同Q比では減収となったが、広告宣伝費の積極的な投資により直前Q比では増収

セグメント利益はゲームの赤字幅減少と広告効率の最適化により前年同Q比で増益、3Q累計ではブランディング広告の減少もあり前年比で大幅増益

### Pセグ 売上高・営業利益



### 主力事業（書籍）売上高・営業利益

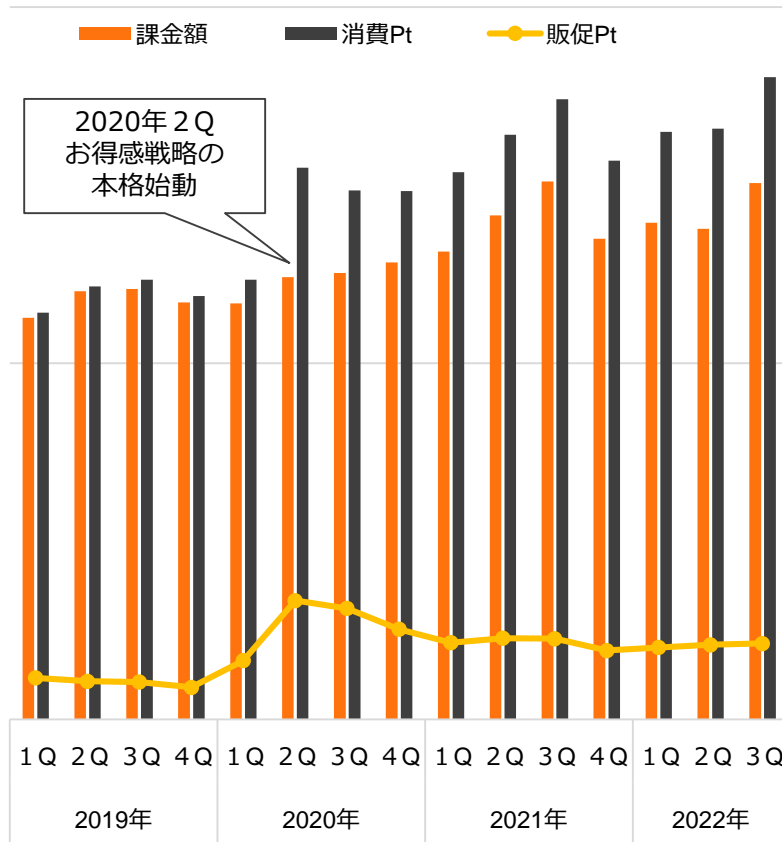


注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む  
 注：主力事業(書籍)売上高・営業利益は全社費用を除いた管理会計数値

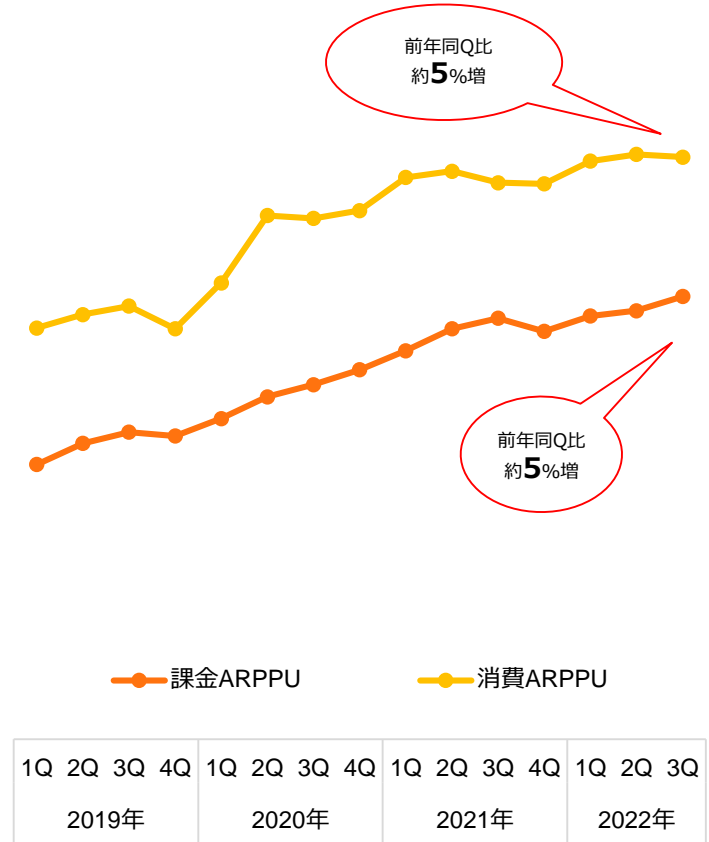




## 消費及び販促ポイント 課金額の推移



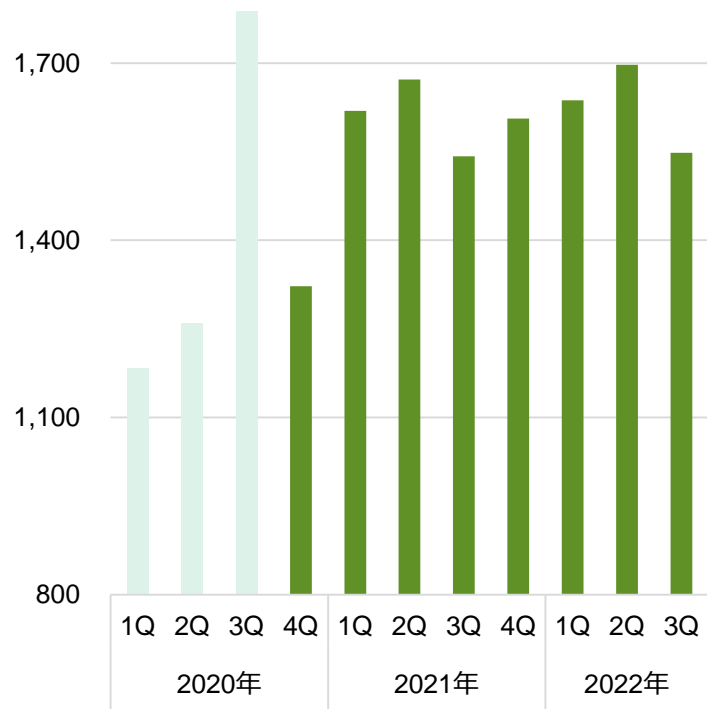
## 単価 (ARPPU) の推移



デジタル売上が出版・その他売上の減収をカバーし、売上高は前年同Q比微増  
セグメント利益においては、返品引当金の戻入による影響額が小さく前年同Q比で減益となったが、計画に対しては順調に進捗

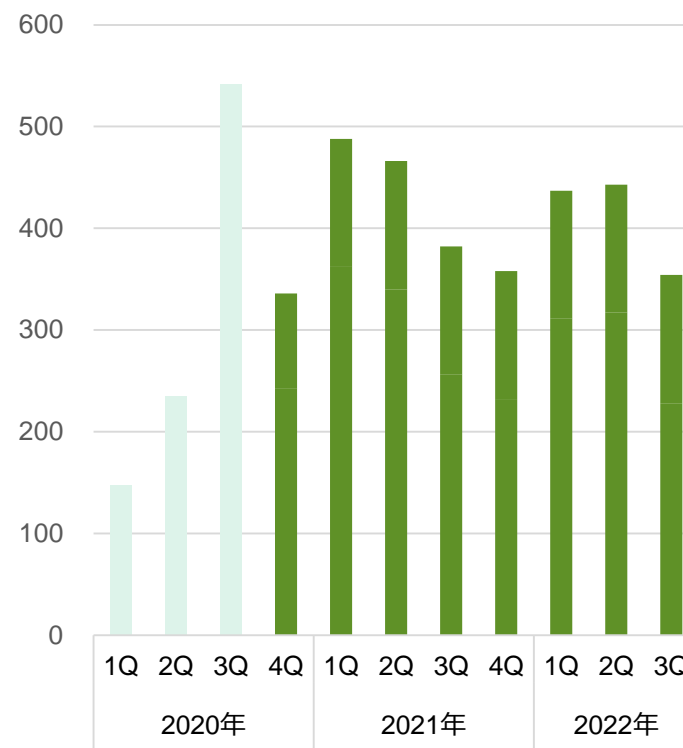
## Cセグ 売上高

[百万円]



## Cセグ のれん等償却前営業利益

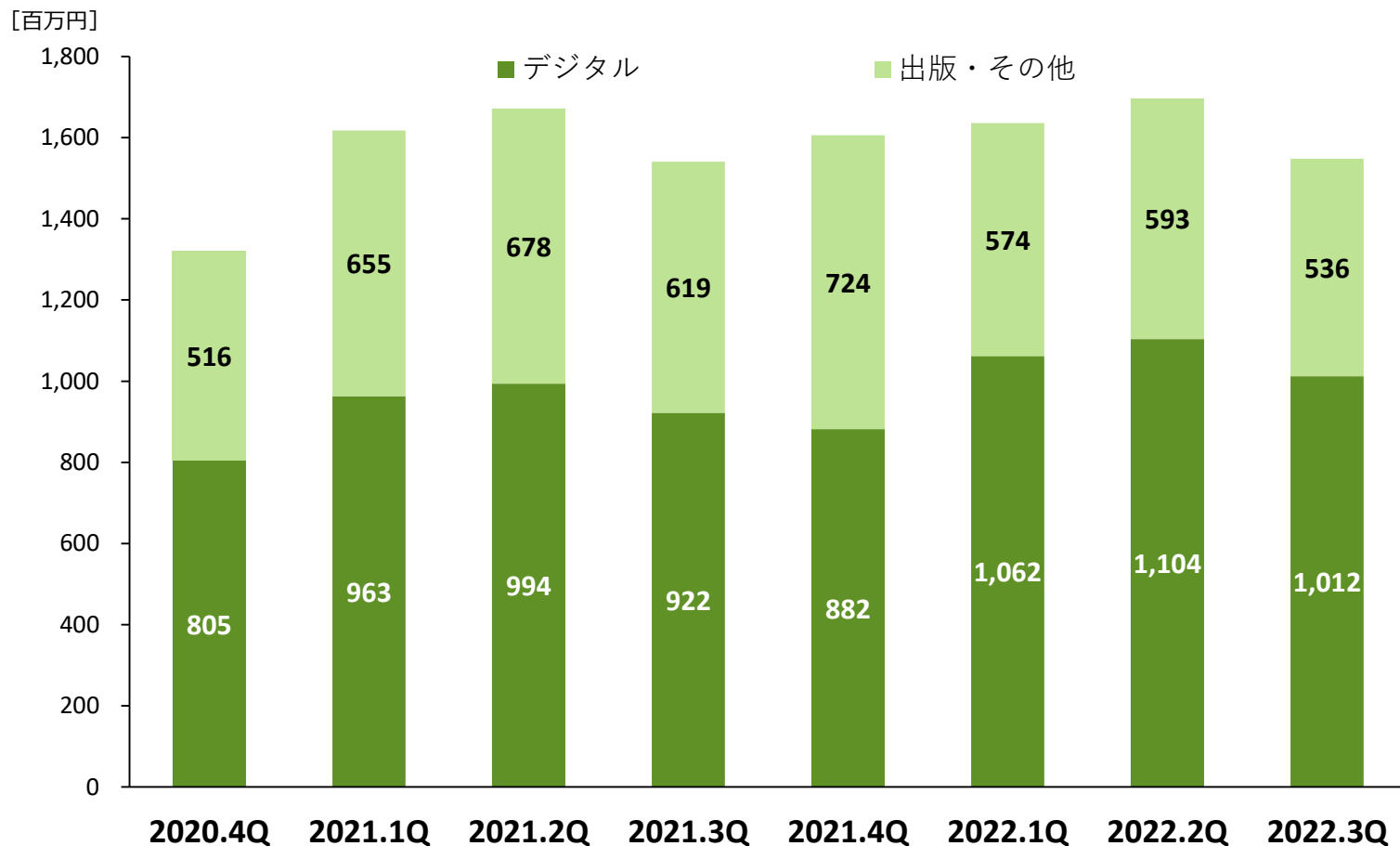
[百万円]



注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む  
注：20年3Q以前の数値は管理会計数値を利用

デジタル売上は引き続き堅調を維持し、3Qも前年同Q比で約10%成長  
 出版・その他の売上は減少傾向だが概ね計画通りに進捗

Cセグ 売上高



注：端数処理の都合、合計値は不一致

Pセグにおいては広告宣伝費の積極的な投資を継続予定、  
Cセグにおいては年末商戦を見極める必要から、通期の業績予想は据え置いた

PL (単位：百万円)	2021年12月期		2022年12月期		
	3Q累計	4Q累計	3Q累計	通期計画	進捗率
売上高	14,107	18,637	14,035	18,791	74.7%
営業利益	946	1,345	1,385	1,536	90.2%
のれん等償却前営業利益	1,543	2,141	1,969	2,315	85.1%
経常利益	840	1,202	1,260	1,416	89.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	338	444	531	695	76.4%
1株当たり 当期純利益(円)	56.92	74.81	89.10	116.97	—